



私たちの“バリューチャート”&ヴィジョン  
バージョンリリース:2009年1月15日

このリリースが生まれたのは最初の草稿から内容を再考しアップグレードさせるため、友達や同僚、ビジネス関係者との同意や対比などを入れた2度にわたる改訂などの注意深い熟考のおかげです。今まで力を貸してくれた全ての方々に感謝します。、彼らはこれの普及にすばらしい援助を約束してくれたり、大使的な役割をかってでてくれました。特に、この仕事を始めることをだいぶ以前に約束してくれた DIDAM ネットワークのニコレッタ ダレッシオ嬢、私たちにこれの始まりとなるビッグバンのような刺激を与えてくれた人間形成コースのラティオ オペランディ氏に感謝をささげます。ありがとうニコレッタ。

20の私たちのモダンビジネスバージョンからのデータと現在の経済、グローバルとグローバリゼーション:

ラッキーな助言ー過去においても常に目印をつけたダイナミックさ、イノベーション、企業家の勇気と積極性ー下記の基本的な点のリストと日常におけるデータ、これらにヒントを得た行動や決断、それらのビジネスにおける強い影響力。

オペランド様式&関係を構築するやり方

- 1) BE と HAVE (西洋的哲学ガイドラインより)
- 2) 陰と陽(東洋的哲学ガイドラインより)
- 3) 反対のバーチャル共有アクション(古代哲学ガイドラインより)
- 4) 人間の価値とそれぞれの考え
- 5) 正直さ&正しい行動をする
- 6) 巻き込まれ、共有、参加
- 7) 清らかなる対比
- 8) デュエットと非決闘
- 9) よりより日常のために共に作業をする
- 10) 主な社会的責任&プライドと偏見から解き放たれた“拡大された視野”
- 11) 強い私権に関する興味への NO(古い基準の株主へ NO、新しいタイプのステークホルダーへ YES)
- 12) より良くするために共に働く
- 13) 1+1>2。団結は強さ
- 14) 垂直性:「スペシャリスト」は特殊な能力や製品だけに与える。しかし人間関係、会社関係、いろいろなプロジェクトやビジネス間における人間同士の関係構築には必要ない。

- 15) 平行性:我々は全員同じレベルで、誰が下級だとか誰がわれわれと違うなどということはない。
- 16) 自分の考えを表現する、思考の自由、いやむしろさまざまな討論の議題に対する自分のアイデアを出すことを強く推奨する。
- 17) “グループ感覚”を優先する
- 18) 個々の考えの他人への押し付けはNO—特に地位の悪用や他者への侵略性のあるもの
- 19) 先取りはYES
- 20) 過信はNO。押し付け、無知、ネガティブなど

## 20をよりよく理解するためのメモ

1) HAVE モード(それらは自分だけを褒め称えるエゴ、買占め、不当な占有、人間の精神病などを生み出す。)だけでは生きられないことを良く理解しよう。HAVE & BE モードの正当な使い方はセンス良く、慎重に交互に使う。「正しいことをする」行動原則は常にそれぞれが人間として生まれつき持つものである。もし誰かがBEの勇気を自分に対して強く持つと、自分自身に対しても他にたいしても慰労し、リスペクトする—しかし自分に対して「存在する」ことだけを考えると決定的に精神病的な状況におちいることになる。—幸福の追求(退屈と戦うために)—争い、戦争、魂の絶望とネガティブな感覚に陥り破壊、自破壊、自滅の傾向がある。

2) 東洋哲学においては個人はマクロコスモス並みの大きさのミクロコスモスに浸かっているそれらは彼らの存在における行動の影響を定める。人は両極性の結合の証である:女性と男性、陰と陽。これらの反対要素は物事に対する対極を現すだけでなく複雑に入り組んだシステムのバランスを保ちながらダイナミックに作用する傾向がある。なぜなら常に対抗勢力の整理をするからである。個人が二つの対照的な要素のバランスがうまくとれるコンディションにあるとき、健康を手に入れることができる。反対に内面的、または外見的にもこの対照的な要素のバランスが崩れたとき、人間は不快感を感じ、病気やその他の不快な症状が出る。

中国哲学の思想は相反性の概念が完璧なまでに明確な道のシンボルに通ずる。シンボルは天地全ての真実を現すものと陰と陽のような人間界の始まりを現す。

漢字の陽は太陽を表し動(アクティブ)のシンボルであり男性、積極性、心理学的用語で日常的な良心などを表す。陰は月で限りなく闇に近く、夜や寒さ、女性、受身、男性の中にある感受性なども表す。両極性は人間の内面に通ずること、互いに相互依存することが共存し、精神的な健康の基礎となる。

## 道のシンボル

3) エフェソスのヘラクレスによると人生は反する物(暑さ—寒さ、光—闇、水—火…)の相互作用が一般的である。われわれは反する物の相互作用はビジネスにおいてプラスバリューを生み出し主な合計の2を導き出すと考える。

4) 人はどのような会社にとってもそれを中心で支える物である。会社は要するに人によって成り立っている。手続きや、経営役員組織図で成り立っているのではない。それらに最大の敬意を表し、それらのアイデアも最大の評価をする。

5) ビジネスをするには知的にも物理的にも正直者でいなければならない。正直という概念は文字通り“いつも正しいことをする”あるべき姿の人として。それらを実現するために自分自身の内面(良心)に向けて聞くこととその声のみを与える。

6) 人をそれらの一部として巻き込むには“公の利益”をモチベーションにしてより幸福になるようにする。できるだけ成功、負の事柄、満足など全てを共有するようにし健康的な環境を実現し参加者のモラルを強化する。

- 7) 公平で清らかな討論にだけビジネスの日常での問題に対する新しい角度からの容易な回答が得られる。
- 8) 決闘とは摩擦であり、それは利益の一部を全滅させることを避けられない。グラディエーターが用いた古い格言にMORS TUA VITA MEA(お前の死は私の人生だ)とあるが、それはその時代には意味があったが、その後そのような行動はビジネスを資本主義の悪化へと導き、最後には自分自身への破滅を意味する。われわれは、逆にデュエットだけが最高の結果を生み出すと考える。勝者も敗者もなく両方が勝者になるのである。
- 9) 会社のためのすばらしい日常は、会社にとって良いこと、集団の合意などである。古い時代の表現を使えば、会社全体、顧客も含めて全てがみんなでよりよい方向へ進むことを考え努力をいとわないことが、目標への近道となる。
- 10) プライドと偏見は“共に”あることを目標とする人間一般にとって二大悪である。いろいろな価値や条件、または問題にもっと視野を広げてみると、ともに社会的、協同体、グループとしてみる会社にとってそれらに特別な注意を払うことは正しく容易な解決策を約束する。
- 11) 少数のみへの利益ではなく、会社とは集団の幸福を追求する物である。私有財産のロジックはセオリーレベルでは“会社にとっての唯一の主/唯一のビジネス”という運営方法は行うべきではなく、全員が少しずつではっても会社の所有者(ヴァーチャル的にでも)という考え:ステークホルダーそのものがよい。株主(シェアホルダー)のロジックは絶対にやめる。
- 12) 団結は強さを表す。グループの強さは破壊し、ひとりひとりを価値(すばらしく尊重すべき)を尊重する。
- 13) 二つの言い分、立場があるとして、デュエットしなければならないとしたら、その新しい結果は $1+1=$ それより大きく2となる。
- 14) “垂直な構造”の会社は現在なくなりつつあり、生存競争を勝ち抜く難しさに直面する場面も新しく導入されたステムによって少なくなっている。一般の人間として(職業軍人ではなく)これら物を拒絶し、反抗する:義務、責務、近親交換、命令、上からの命令。これらのことはすべて個人の自由な表現を妨げる(しかしエゴの表現ではない)。
- 15) 現代マーケティングのセオリーでは信頼できる情報源だけではなくインターネットを駆使し、今の時代は自分たちを含む巨大な集団の全てがマーケットである。全てが同一レベルにいるように。“伝統的な”顧客はアクティブな商人でいたいと思い、“伝統的な”商人は同じ時に顧客に対してもっと知りたい、もっともっとビジネスの成長に積極的にかかわりたいと思っている。私たちは全てに私たちの存在を知らしめ、地球上に存在する価値を認めてもらいたいと思い、生きている証を実感したいと思っている。ビジネスや会社、マーケットにおいても。
- 16) 評価すべきアイデアがあるほど(いろいろな人からそれぞれの文化背景、家庭、教育環境に基づいた唯一無二のものがもたらされる)それらは必然的に:多くのサンプルがよりよい結果を導き出し一人の声を尊重し、恩恵を与えて“活躍している人達”の一員だという感覚を与える。一人を評価するときにはどれだけ自分自身を最大限に表現しているかということを見る。
- 17) グループ感覚:すでに強さを持った人をさらに強くし一性格的に弱さを持った人を助け一人間であることにより得られる最大の恐怖である孤独を感じることなく一結果としておきる個人の集団への最大限の注意がその団体への利益をもたらす。
- 18) 個々の考えはいつも切望され、問題解決のとるべき方法/可能性として歓迎されなければならない。
- 19) すばらしい意志を持った人、アクティブな人、よい意味での企業精神に富む人はいつでも歓迎される。
- 20) ネガティブは破壊、戦争を起こす。過信は「何も知ろうとしない」ことと同義で永遠にラテン語におけるいい方(IGNORANS:無視する人/知らない人)無教養/無知のままである。われわれは

強い人とは挫折の後いつも立ち上がれる人のことで、次に支配する人ではないと思っている。ずうずうしさは他人の自由を強く侵害する。

ルチアーノ アモディオ、マーケティングディレクター